

別府温泉郷のテーマ曲作曲 ACOON HIBINO



ピアノ部門で3位になった別府市出身の渡辺智道

芸能

癒やしの音楽届ける

別府温泉郷のテーマ曲「FUTUREs」を作編曲した音楽家ACOON HIBINO(エイコン・ヒビノ)が大分市の大分合同新聞社を訪問した。

10月末、別府市であったの音楽イベント「POWER of LIVE」(大熊本・大分地震復興のため)



来社したACOON HIBINOのカメラプラザ

震災後の未来応援

本音楽コンクール」▽アンサンブル・2台ピアノ19日午前5時からは、B時から、Sプレミアム「クラシック倶楽部」加、福谷彩花、藤田祥、星子奈々。ラフマニノフ「1台6手ピアノのための『ロマンズ』」プーランク「2

入場は無料。問い合わせは097・545・8758(平日午前9時から午後6時まで)。27日に鶴崎芸能文化祭第43回チャリティー公演鶴崎芸能文化祭(大分合同新聞社後援)が27日午前11

分合同新聞社後援に出演。「湘南乃風」メンバー若旦那「ゴスペラーズ」と共にステージに立った。「震災で皆さんが先を閉ざされたと思わないように、未来に向かって頑張っていきたい」という思いを込めて作った。親しみのあるフレーズで、未来に向けて少しずつテンションが上がっていくイメージと話す。「埼玉医科大学の和合治久教授が臨床実験を通し、528Hzを利用した音楽を聴くと『多くの病気を予防できる』」などと発表している。「BGMなので、この曲を演奏するときは他の会場でも背景に映像を流す予定です」と明かす。

エイコン・ヒビノは「528Hzの響き」を生かした演奏活動を2013年に開始。昨年1月には「心と体を整える」愛の周波数528Hz、「自律神経を整える音の処方箋」愛の周波数528Hz「をリリースし、両作品は第57回日本レコード大賞企画賞に選ばれた。犬や赤ちゃん向けのヒーリングミュージックのアルバムも発売している。「埼玉医科大学の和合治久教授が臨床実験を通し、528Hzを利用した音楽を聴くと『多くの病気を予防できる』」などと発表している。「別府の温泉郷と展開もしている。楽は共通して癒やがある。ストレスをい人になぜ聴いてほしい」と話している。

シンガー・ソングライター レーモンド松屋

「大分でまたライブを」

愛媛県西条市を活動するシンガー・ソングライター、レーモンド松屋が大分市の大分合同新聞社を訪問した。

レーモンドは2月に「安芸灘の風」デビュー。同作線大賞「新人賞」の合わせ賞を受賞。五木ひろしに賞。五木ひろしに賞。第54回日本レコード大賞に、「作曲賞」に提供した「博多モード」は第46回大賞「大賞」に輝く受賞歴がある。「五木さんからのブルース」といって歌を作った。私の依頼された。私の

